

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果を受けた今後の対応について

令和8年9月30日
本件問合せ先
義務教育課：大越（5223）

1 調査実施日・内容

- ・ 令和8年4月20日（月）～5月29日（金）
- ・ 教科に関する調査 小6：国語、算数 中3：国語、数学、英語（C B T調査）
- ・ 児童生徒質問調査、学校質問調査

2 結果概要

（教科に関する調査結果のみ）

【結果一覧（公立）】

（①、②は平均正答率 %）

学年	教科	年度	①本県	②全国	全国平均との差 ①－②	本県順位
小6	国語	2026	61	60.9	+0.1	14位
		(2025)	(67)	(66.8)	+0.2	(15位)
	算数	2026	55	56.4	－1.4	20位
		(2025)	(57)	(58.0)	－1.0	(23位)
中3	国語	2026	65	63.9	+1.1	6位
		(2025)	(55)	(54.3)	+0.7	(7位)
	数学	2026	57	57.0	±0.0	13位
		(2025)	(50)	(48.3)	+1.7	(8位)

〈英語〉

（①、②は平均IRTスコア）

学年	教科	①本県	②全国	全国平均との差 ①－②	本県順位
中3	英語	494	499	－5	20位

- ※ 調査対象 【小6】441校 児童20,921人 小学校 義務教育学校前期課程 特別支援学校小学部
【中3】224校 生徒20,255人 中学校（県立を含む） 義務教育学校後期課程 中等教育学校前期課程 特別支援学校中学部
- ※ 都道府県別の教科の平均正答率、平均 I R T スコアは、小数点以下を四捨五入した整数値で国から提供されている。
- ※ 児童生徒数は、教科の調査対象者数の最大数を掲載

3 主な課題

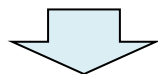
- 【課題】
- 〈国語〉根拠を明確にして自分の考えを述べること
 - 〈算数・数学〉表、グラフの特徴を捉え、情報を正確に読み取ること
 - 〈英語〉文法事項を理解し、正確に英語で書き表すこと

1 授業に関する県の対応策

教科	授業に関する県の対応策
国語(小)	・読んで理解したことを、条件に合わせて書く力を高める指導を改善するよう指導・助言 ・慣用句、ことわざの意味の理解を定着させる県独自問題の提供
国語(中)	・文章表現の工夫とその効果について考えたことを、条件に合わせて書く力を高める指導を改善するよう指導・助言 ・慣用句、ことわざ、語彙の意味の理解を定着させる県独自問題の提供
算数(小)	・低学年からの児童一人一人のつまずきを点検し、補充指導を実施するよう指導・助言 ・基礎を重視した図形問題や、データから表・グラフを作成する県独自問題の提供
数学(中)	・学んだ知識を整理し、思考フレームにあてはめて考えを組み立てる二段階の指導により、論理的に考える力を育成するよう指導・助言 ・論理的な考え方を強化する図形の証明問題の提供
英語(中)	・正確な英語を身に付けるための生徒一人一人のアウトプット量の確保や、個別指導を繰り返し実施するよう指導・助言 ・授業内外での生成A I の活用や生成A I を活用した好事例の提供

2 学校・教員への支援策

- 県と市町村が連携した「授業改善推進チーム」を設置し、授業改善を支援
 - ・児童生徒に対し、発達段階に応じた授業アンケートの実施 ⇒ 授業改善に反映
 - ・指導主事の訪問指導による授業のブラッシュアップ
- 児童生徒のつまずきを減らすための県提供問題の効果的な活用方法を指導・助言
- 遠隔による質の高い授業の提供
- 指導力向上のための優良授業動画の提供及び若手教員が授業づくりの基礎を学ぶオンライン研修等の実施



全教科10位以内を目標として、教員の指導力向上と児童生徒の学力向上に取り組む